

個性が輝く まちが輝く

とっぎゃざー

みんな仲良く一緒に

2024.9.第31号



よかひとりレー

すえざき ふ み こ

末崎富美子さん (八女市) にインタビューしました! …… 2~3

☆講演会のご案内・男女共同参画関連おすすめ図書・編集後記 …………… 4

情報誌「とっぎゃざー」は、男女ともに個性と能力が十分に発揮できる八女市を願って名付けました。

発行：こらぼれーと※(八女市男女共同参画情報誌編集委員会)
八女市 人権・同和政策・男女共同参画推進課 ☎0943-23-1314

※こらぼれーと(共同)
情報誌を編集するメンバーのグループ名です。よろしくお願いします。



だれもがどれも選べる社会に





星の光子子ども食堂 代表
すえざき 末崎 富美子さん

プロフィール

1970年広川町生まれ。28年前に結婚して星野村へ。健康教室、料理教室などのワークショップを開催。皆で楽しめるイベントを企画し、地域を盛り上げている。

——星野村での4人の子育てを振り返ってどうでしたか？

子育てはにぎやかで楽しかったです。小さい頃から興味があることは自由にやらせて、親はできるだけ見守る様にしていました。川で泳いだり、山遊びをしたり。また、私が料理好きなことも影響したのか、子どもたちは小さい頃から包丁や火を使って自分なりに料理をしていました。ときには危ない体験や、困難があったと思いますが、知恵を出し工夫する事で、どんな環境でも生きていく力がついたのではないかと思います。

長男は、地元八女に帰って来てジビエのレストランをオープンしました。それぞれ本当にたくましく育ってくれました。

——3年前に、子ども食堂を星野村で立ち上げられましたか？

その経緯についてお聞かせください。

当時はコロナ禍で、人々の交流が容易ではありませんでした。特に小中学生やご年配は家にこもりがちで、孤独を感じている方が多かったようです。そういった方々を元気づける場を作りたいと思っていました。その頃におりなす八女研修棟の「土曜クラブ（こども食堂＆学習支援）」を見学する機会をいただきました。幅広い層の方々が生き生きとボランティアをしている姿を目の当たりにして、益々子ども食堂を立ち上げるべきだと感じました。そこから一緒に子育てをしてきた地域の方々やママ仲間にも声をかけました。日々忙しいにも関わらず快く引き受けてくださった仲間のおかげで話は進み、社会福祉協議会のバックアップと共に、「星の光子子ども食堂」をスタートすることができました。

この活動は私だけでは成り立ちません。調理や資料作りなどたくさんの方々をサポートにより実施できています！今後はひとり暮らしの方や、まだ利用したことのない方も気兼ねなく集





える居場所となるようにしていきたいと思っています。

——子ども食堂の現況はいかがですか。

現在は月2回実施しています。手作りのお昼ご飯をみんなで食べます。その中でいろいろな話がなされ、様々なご縁が広がっています。子どもたちを地域の宝として見守りながら育てていくという感じでしょうか。

それから、4月から月に1回ですが、星野中学校の全校生徒37名の皆さんにワクワクを感じてもらいたくて、ベーグルサン

ドと飲み物を放課後に配布しています。子ども達が成長して星野村での懐かしい記憶になってくれると嬉しいです。

——末崎さんのやりたい事や未来についてお聞かせください。

今は自宅で月に1回健康教室(適度に身体を動かす体操と、ランチをみんなで食べながらおしゃべりをしたり)を開催しています。やはり元気でいるためには身体を動かしてみんなで笑ってこの活動は続けていきたいですね。

あとは、星野村にゲストハウスを作れたらいいなと思っています。『帰ってきてても実家がない』という人や、『星野村に移住したい』という人のための施設を現住市民の私の意見だけでなく、市外や、県外の方々と意見交換をしながらたくさんの方が快適に楽しく過ごせるそんな施設を作ってみたいです。完璧にこだわらず、時代とニーズに合わせて私らしく、思いついたことに進行形で挑戦していきたいと思っています。



感想



末崎さんらしい自由で心地よいご自宅。娘さん手作りのベーグルをごちそうになりました。そしてなにより末崎さんのキラキラと輝くお話と笑顔でおもてなししていただき、元気を頂きました。このように輝く人とのご縁で多くの人にやる気と笑顔の連鎖が広がっていきそうです。

末崎さんらしい自由で心地よいご自宅。娘さん手作りのベーグルをごちそうになりました。そしてなにより末崎さんのキラキラと輝くお話と笑顔でおもてなししていただき、元気を頂きました。このように輝く人とのご縁で多くの人にやる気と笑顔の連鎖が広がっていきそうです。



★ 星の光 子ども食堂 ★

開催日 月2回

場所 多目的集会施設 第9西区 コミュニティーセンター ふれあい
※星野支所駐車場から徒歩1分
福岡銀行星野出張所裏

対象 子どもから大人まで(子どもは無料)

お問合せ先 八女市社会福祉協議会星野支所 電話 (0943)52-3165



八女市男女共同参画講演会 2024

[illegible]

八女市男女共同参画講演会 2024

講演会

「人生に効く脳科学 ～脳が創り出す 男女のミソ、 人生の波～」

講師 人工知能研究家
（ちゅうがく だい）（せうに）
黒川伊保子さん

男女の感性の違いや、ことばの発音が脳にもたらす効果に基づいた感性研究の第一人者。ネーミングの領域でも大塚製薬の「Soy Joy」をはじめ多くの商品名に貢献。著書『愛のトリセツ』『思春期のトリセツ』をはじめとするトリセツシリーズは、累計 100 万部を超えるベストセラーとなった。『世界一受けたい授業』『さんまのホームでっかTV』などテレビ出演多数。
人間の脳は56歳から人生最高潮期に入るとは？ 男女年代問わず、思わすうなずく脳科学的な人生論。



日時 令和 6 年
9 月 28 日（土）
13:30～開会
(13:00 開場 15:20 終了予定)

会場 おりなす八女 ハーモニーホール
(住所 八女市本町 602-1)

入場無料
申込不要

一時保育あり
(要予約)

聴覚障がい
手話通訳あり

＊一時保育申込は 9/19（土）まで（電話 0943-23-1314）
 ＊配達の必要な方は事前にご連絡ください

一問一答コーナー
 八女市人権・男女政策・男女共同参画推進課
 八女市本町 647 番地 0943-23-1314

QRコードをアプリで読み取り、ご参加ください。
参加費無料です。但し、会場内飲食等のご利用はご遠慮ください。



[印刷] 男女共同参画推進ネットワーク実行委員会
[印刷] 八女市・八女市教育委員会

男女共同参画関連

三淵嘉子と家庭裁判所
清永 聡 著 日本評論社



日本初の女性弁護士、初の女性裁判所長であり、家庭裁判所創設にもかかわった三淵嘉子。彼女の歩んだ人生と、家裁の黎明期にかかわり、「愛の裁判所」をめざした足跡を、評伝と証言で綴る。

※書影はNDLサーチのAPIを使用しています

思い込みにとらわれない生き方
坂東 眞理子 著 ポプラ社



「思い込みがない」こそ、一番の思い込み。夫婦の役割、働き方、恋愛、結婚、老後生活など、人を縛る「アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）」から解放たれて、豊かな人間関係を築くための生き方を指南する。

おすすめ図書

家族のトリセツ

黒川 伊保子 著 NHK 出版



なぜ家族をストレスに感じるのか。親子、兄弟、夫婦。イライラしやすいの具体例を挙げながら、そのメカニズムを脳科学の観点からわかりやすく解説。家族という「他人」とうまく付き合うための実践的方法を綴る。

60歳のトリセツ

黒川 伊保子 著 扶桑社



60歳は新しい人生の“新人”。古い、親子、夫婦、孫、友人、職場のいろんな「気になる」をぜ～んぶ捨てて、自分史上最高の人生をスタートさせよう！脳科学者が、60代以降の脳の仕組みを解説し、人生が輝く方法を伝授。

編集後記

横浜から上陽町に移り住んで9年になります。昨年より民生委員に委嘱され、その後「男女共同参画」の委員にもなりました。いずれも突然の事であり、当初は何をどうしていいのやらわからない状態でした。ただ、今までにない経験をさせて頂いていくなかで少しずつは慣れてはきました。例えば今まで接点がなかった地域の防災会議や老人施設の訪問、上陽町北浜学園の小学生との「子供民生委員」としての取り組み、男女共同参画推進セミナーの一環としての講演会の準備等がありました。

私なりに考えた事ですが、地域の問題は自分一人が、しゃにむに頑張るのではなく、地域の方・行政の方それぞれが自分にできる事を皆で一丸となつて取り組んでいく事が大事ではないかということです。

コロナが5類へ移行して各方面の催し事が次第に増えてきておりますので、今後又色々な方々との出会いも同じく多くなるので楽しんでいきたいと思えます。